

2019年度事業報告

(自：2019年4月1日～至：2020年3月31日)

I. 基本方針

1. 「公益法人制度改革」により、平成25年4月1日に一般社団法人三島田方法人会としてスタートし、本年度は7年目となりました。
2. 事業展開にあたっては、本年度も法人会活動の原点である『税』に軸足を置き、会員以外の一般の方も対象として『納税意識の向上』『税制への建設的提言』『自己研鑽機会の提供』『地域社会への貢献』など諸活動を親会・女性部会・青年部会・青年部会OB会一体となって積極的に実施いたしました。
3. 経済情勢や法人会を取り巻く厳しい環境に十分配慮しながら、会員増強運動展開し、新規会員98先・内賛助会員10先獲得、令和2年3月末、会員数2,703先(内賛助会員57先)となりました。

II. 主な事業

1. 公益関係

(1) 税知識普及事業

① 「税法・税務関係研修会の開催」

会員企業及び一般の方々を対象に三島税務署の支援を得て、税知識向上を図るため7月2日「平成31年度税制改正セミナー」を開催実施いたしました。

② 「租税教育活動の展開」

青年部会により、3市1町の小学6年生・中学生3年生を対象に、856名の児童に租税教室を12校(小学校10校・中学校2校)で開催実施しました。

また12校の租税教室実施内容をビデオ作成し、来年度に繋げるものとなりました。

(2) 納税意識高揚事業

① 女性部会による3市1町の小学5・6年生対象に「税」をテーマに、「第8回

税に関する絵はがきコンクール」を開催、三島税務署管内32校の内25校の児童により665作品の応募がありました。三島市立佐野小学校池田深月さんが、県連会長賞・東海法人会連合会会長を受賞されました。税についての理解と意識高揚が図れました。入賞作品の展示も3か所で行いました。

また、「夏休み子ども税金教室」を開催し44名の児童が参加して「税」の理解と意識啓発を行いました。同日、自衛隊駒門駐屯地見学と戦車乗車を体験し有意義なものとなりました。

② 税の広報事業

会員企業及び一般の方々を対象に、三島田方法人会の「のびゆく法人」会報誌及び三島田方法人会ホームページにて「税」についての様々な広報活動に努め、3市

1町の教育委員会並びに小学校・商工会議所・商工会・金融機関等に会報誌を配布いたしました。

- ③また“税を考える週間”には女性部会支部役員が各地域の商工祭等（6か所）に積極的に参加し、三島田方法人会の活動と「税」に関するパンフレット、チラシ、花の種を3,300個配布と「子ども税金クイズ」を通じ、会員外の一般の方々に対する『税』の啓蒙活動を実施しました。
- ④さらに、「e-Tax」をはじめとする『税』の電子申告・納税システムの推進については、税務署職員の協力を頂き、e-Taxセミナーを開催して会員企業役員・経理担当者の参加により更なる普及に努めました。
- ⑤「自主点検チェックシート」の活用による企業の税務コンプライアンス向上に努めました。

（3）税制提言事業

会員を対象に税制改正についてアンケートを行い、意見・要望をもとに静岡県法人会連合会、全国法人会総連合と連携して税制改正要望書を取り纏め、11月6日に地元選出の細野豪志国会議員に、11月19日・28日に豊岡三島市長と大房市議会議長・野村副議長に提言活動を行い、建設的な意見交換を行いました。

（4）地域企業発展事業

地域企業及び一般の方々を対象に経営セミナーを1回「感動品質はチームでつくる」またAIG損害保険（株）・大同生命（株）主催の「働き方改革関連法案への対応セミナー」を1回開催しました。

「税を考える週間」では、横石知二氏の講演開催。演題「葉っぱビジネスが地域を変える」や新春特別講演会に講師 松木 安太郎氏をお招きし、「人生というゲームの中で」と題し講演されました。また女性部会税経セミナーにおいて加藤啓子氏の「10歳若返る？話し方」を含め講演会は4回開催、講師の方々より色々のテーマでご講演を頂きました。

2019年度合同入社式を2019年4月1日に開催致しました。当日9社21名の出席を頂き地元中小企業に入社した社員同士が、企業は違っても同期としての仲間意識を持つことが出来ました。また同日外部講師によるビジネスマナー講座も開催しました。

また、伊豆総合高校の1・2年生を対象にした企業ガイダンスを5月23日（16社参加）・10月23日（17社参加）・11月27日（12社参加）計3回実施しました。自社の魅力や生まれ育った地域で働く意義を伝えると共に、一人でも多くの若者に地元企業の良さを知って頂くことができました。

（5）地域社会貢献事業

青年部会はチャリティー募金活動を行い、今年度も「伊豆の国市児童発達支援センターきららか」に清掃用エンジブロワー1機とキッチンペーパータオル60セットを3月に寄贈しました。ボランティア活動は、定例化しています。例年3月に伊豆総合高校の生徒と青年部会で修善寺駅北口周辺の清掃活動を行いましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い来期へ延期となりました。

2. 共益事業

(1) 福利厚生事業

財政基盤強化と会員企業経営の安定・保全と経営者又は従業員の福利厚生制度の一層の充実を目的として、大同生命保険・AIG損害保険・アフラックの担当者等連携して、法人会の福利厚生制度商品の推進をいたしました。

保険料収入の増加に伴い、助成金・補助金の増加につながりました。

今年度から『想いをつないで50年「会員企業を守りたい」キャンペーン』の目標達成に向け、保険会社担当との同行訪問等により会員への意識付けを図りました。

(2) 会員支援交流事業

①会員を対象に税制改正セミナー、ビジネスセミナー講座、働き方改革関連セミナーを企画し会員の要望に添う研修を行いました。

②会員サービス

イ. 法人会提携ローン

ロ. 「早割電報」紹介サービス

ハ. インターネットでセミナー受講「セミナーオンデマンドサービス」

ニ. 「法人会メリットカード」の周知と特約店が提供する「会員向け特典」を会員に利用していただけるようにPRしていきます。また特約店の増加を推進していきます。またメールマガジン配信開始に伴う会員登録の推進に努め、21件の実績登録でした。

ホ. 中小企業向け貸倒保障制度（引受保険会社：三井住友海上火災保険会社）

ヘ. 日産レンタカー割引制度の導入

ト. 企業情報・格付情報照会サービス

③ 支部活動

支部活動に対しては、支部の活性化を図るべく、会員との連携・協力により会員企業の事業発展と支部意識高揚に努めております。

(3) 会員増強事業

令和元年12月末会員数は各支部の推進により2,819社を達成致しました。加入率は65.0%で県下法人会第2位でした。

支部会にて会員増強推進運動への積極的な展開を行ってきました。令和元年度は

98 社の新規獲得実績となりました。

管理関係

1. 規程

定款一部改正を行いました。

2. 諸会議

①～⑦の会議等を計画、開催しました。

①総会

②理事会

③正副会長・監事会

④各委員会

⑤支部会

⑥青年部会の諸会議・女性部会の諸会議

⑦その他必要な会議

3. 事務処理

(1) ガバナンス強化を含めた事務管理の厳正を図りました。

(2) 平成 28 年からスタートした「マイナンバー制度」に沿った適正な事務処理の遂行に努めました。

(3) 事業の削減を検討し、事務量の軽減を図るべく課題の抽出を求めました。